

# 第4回 全国被災地 語り部国際シンポジウム in 熊本

参加  
無料

※第1～4部

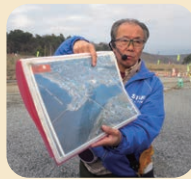
先着順  
(定員150名)

～多様な語りで未来へつなぐ～

平成30年 12月8日(土)/9日(日)/10日(月)

会場/8日 熊本城・熊本市役所14階  
市民会館シアーズホーム夢ホール 2階(熊本市中央区桜町1-3)  
9日 熊本県御船町・南阿蘇村・益城町  
10日 長崎県島原市

熊本地震から2年半が経ちました。この間にも各地で地震、豪雨、津波、噴火により甚大な被害がでています。全国の語り部の英知を集め、これからの「減災」を私たち自身の手で考え、行動します。



## 【プログラム】

### ■12月8日(土) シンポジウム/交流会

【第1部】10:30～12:00 熊本城の語り部 日本語/英語

【第2部】13:00～16:00 開会

- 被災地の語り部 井上 学 熊本市危機管理監  
岡田 美紀 (日本語) 兵庫県淡路市  
池本 啓二 (英語) 兵庫県淡路市
- 熊本県「熊本地震震災ミュージアム構想」紹介  
田浦 貴久 熊本県知事公室課長補佐
- パネルディスカッション  
高城 禎彦 宮城県石巻市  
長谷川重雄 長崎県島原市  
毛利 聖一 熊本県熊本市  
黄 嘉慧 台湾台中市
- コメンテーター 植松 浩二 熊本市副市長  
阿部 憲子 宮城県南三陸町
- コーディネーター 山地久美子 兵庫県神戸市

【第3部】16:15～17:45 語り部ワークショップ(3分科会)

【第4部】17:50～18:10 閉会 総括・「熊本語り部宣言」

【第5部】18:30～20:00 交流会(飲食費は実費)

### ■12月9日(日) <熊本地震>災害を風化させないための語り部バス

【第6部】8:00～17:00 限定60名 参加無料(飲食費等は実費)

災害遺構と語り部

御船町 日奈久・布田川断層の影響等、御船町恐竜博物館  
南阿蘇村 東海大学阿蘇キャンパス1号館  
益城町 布田川断層の影響等、益城町テクノ仮設団地  
<熊本市内発着> 【協力 熊本県】

### ■12月10日(月) オプショナルツアー(交通費等は実費)

【第7部】10:00～14:00 現地集合/解散

雲仙岳災害記念館/雲仙普賢岳噴火災害の語り部  
土石流被災家屋保存公園ほか

【パネル展示】

プログラムの詳細・参加申込方法は裏面をご覧ください

URL▶ <http://www.nojima-danso.co.jp/kataribe2.html>



## ■主催:「第4回全国被災地語り部国際シンポジウム in 熊本」実行委員会

(野島断層保存館/北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア/多文化と共生社会を育むワークショップ/FMわいわい/雲仙岳災害記念館  
益城だいきプロジェクト/きまままに/オールみふね恐竜の郷復興プロジェクト/FM791熊本シティエフエム/南三陸町地域観光復興協議会)

## ■共 催:科学研究費補助金 基盤(B) 海外学術調査「被災者支援レジーム/復興まちづくりの国際比較研究」

◆特別協力:株式会社ほくだん 南三陸ホテル観洋

◆協 力:熊本国際観光コンベンション協会 「1.17KOBEに灯りをinながた」実行委員会  
株式会社フェリシモ(多文化WS「熊本らしい復興を語り継ぎ、備えと安全を未来へ手渡すプロジェクト」)

◆後 援:熊本県 熊本県教育委員会 熊本市 熊本市教育委員会 益城町 益城町教育委員会 御船町 御船町教育委員会  
西原村 西原村教育委員会 南阿蘇村 南阿蘇村教育委員会 熊本大学 熊本県立大学 熊本学園大学  
神戸大学都市安全研究センター 神戸大学未来世紀都市学研究ユニット 神戸大学地域連携推進室  
大阪府立大学女性学研究センター 熊本日日新聞社 NHK熊本放送局 RKK TKU KKT KAB FMK  
エフエムやつしろ エフエム小国 天草ケーブルネットワーク(株) 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社  
西日本新聞社 共同通信社 時事通信社熊本支局



北淡震災記念公園 野島断層保存館